

タンパク質凝集性解析を可能にする化学プローブ開発

日時

2026年 **11**月**16**日（月） **11:00 ~ 12:00**

開催形式

Zoomウェビナー（聴講登録頂いた方にURLをセミナー前日までにメールでお知らせします）

聴講登録

<https://forms.gle/axxGwhMuKknWAj1j9>

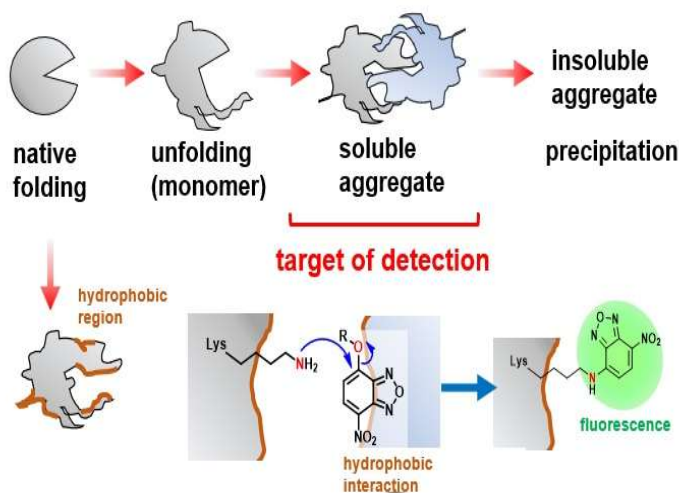
登録〆切：2026年11月13日（金）12:00



講演

タンパク質凝集性解析を可能にする化学プローブ開発

佐藤 伸一

東北大学 学際科学フロンティア研究所
准教授

タンパク質が変性・凝集する際に露出する疎水性界面を認識し、近傍のリジン残基と共有結合して蛍光を発する化学プローブを開発した。本講演では、その設計原理と、質量分析と組み合わせ凝集界面を部位レベルで同定する解析法を紹介する。

さらに、神経変性疾患の原因となる凝集体シードを共有結合的に不活性化する創薬展開と、同一骨格から派生させた診断プローブへの応用についても述べる

クロストーク & QA

「検出ツールから社会実装への展開の期待と難しさ」

佐藤 伸一

東北大学 学際科学フロンティア研究所 准教授

池田 幸樹

京都大学 成長戦略本部 特定拠点助教

MC/森山 さくら

京都大学 高等研究院 日本学術振興会特別研究員